

すてきな みんなの えがおか いっぱい！

一步ずつ、大きな一步 ～心と体が育った2学期～

早いもので、2学期も終わりを迎えました。

運動会や作品展、園外保育や季節の行事など、さまざまな経験を重ねる中で、子どもたちは友だちと一緒に挑戦し、喜びや達成感を分かち合いながら、心も体も大きく成長してきました。2学期は、「やってみよう」と一步踏み出す姿がたくさん見られた学期でした。初めての運動会では、少し緊張しながらも友だちと一緒に参加し、作品展では自分の思いやイメージを形にして表現する喜びを味わいました。園外保育や自然との関わり、日々の遊びや生活体験を通して、「一緒にやる楽しさ」「友だちと力を合わせる心地よさ」も少しずつ育っていました。また、絵や造形、音や身体表現など、さまざまな表現活動の中で、感じたことや心に残ったことを自分なりに表そうとする姿が増え、友だちの表現に目を向けたり、

思いに耳を傾けたりする姿からは、心の育ちを感じられました。

一つひとつの経験は小さく見ても、その積み重ねが子どもたちの自信となり、確かな成長へとつながっています。

運動会に向けた活動を通して、体を動かす心地よさや、友だちと気持ちを合わせて取り組む楽しさを十分に味わった一か月でした。

はじめての運動会では、少し緊張しながらも、音楽に合わせて体を動かしたり、友だちと一緒に参加したりする中で、「一緒にやる」「順番を守る」「自分の役割を意識する」といった経験を重ね、友だちとのつながりがより深まってきました。また、園外保育では親子で芋ほりに出かけ、土の中から芋を見つける喜びや、力を合わせて掘り出す達成感を味わう経験になったように思います。ひまわりの収穫や種取りと合わせて、「自分たちで育てた」「自分たちで取った」という実感をもって、秋の自然や実りに親しむ姿が見られました。その後の活動では、運動会や芋ほりの経験を絵に描いて表現しました。絵の具だけを使い、体を大きく動かしながらダイナミックに描く中で、心に残った場面や気持ちを自分なりに表そうとする姿が見られ、経験が表現へとつながっていることが感じられました。

作品展後は、表現遊びがさらに

広がり、動物になりきって体を動かしたり、絵本の世界をイメージしてごっこ遊びを楽しんだりしました。絵本に出てくる動物の気持ちを考えながら遊ぶ中で、友だちの思いに耳を傾ける姿も見られ、心の育ちが感じられました。また、合奏遊びでは3つのパートに分かれて音を合わせることを楽しみ、「みんなで音をつくる」心地よさを味わっていました。生活体験としては、もちつきに参加して感触の面白さを体感したり、自分たちが稻から育てかかしを作って守った稻を収穫し、脱穀・粒搾り・精米と、お米が食べられるようになるまでの一連の流れを見たり体験したりする中で、食べ物への関心や感謝の気持ちが育っていました。お楽しみ会では、サンタクロースからお手紙が届き、会える日を心待ちにしながら合奏遊びを楽しんだり、プレゼントバッグを作ったりしました。当日はサンタクロースの登場に歓声が上がり、子どもたちの笑顔があふれる、心に残る素敵な1日となりました。

大阪市立墨江幼稚園

2025.12 No.8

4歳児 ばらくみ

8・9月

・夏休み明けは、1学期に親しんできた遊びを保育室や園庭に用意することで、子どもたちは安心して園生活に戻ることができました。

ウォーターブロックや縄渡りなどの不安定な道に挑戦する中で、体の使い方を工夫しながらバランスを取ろうとする姿が見られ、「やってみよう」とする気持ちが育ってきました。友だちと一緒に取り組む中で、自然と「がんばれ」「こうしてみよう」と声を掛け合う姿も増え、協力する楽しさを感じている様子がうかがえました。園外保育では、交通ルールや公共の場での過ごし方を学びながら社会性を身につけ、ビッグバンでは、お家の方が用意してくださいたお弁当を嬉しそうに味わう姿から、安心して一日を過ごせていることが感じられました。また、「ドンジャンケン」などのルールのある遊びにも親しみ、集団で遊ぶ楽しさが広がっていました。

10月

運動会に向けた活動を通して、体を動かす心地よさや、友だちと気持ちを合わせて取り組む楽しさを十分に味わった一か月でした。

はじめての運動会では、少し緊張しながらも、音楽に合わせて体を動かしたり、友だちと一緒に参加したりする中で、「一緒にやる」「順番を守る」「自分の役割を意識する」といった経験を重ね、友だちとのつながりがより深まってきました。また、園外保育では親子で芋ほりに出かけ、土の中から芋を見つける喜びや、力を合わせて掘り出す達成感を味わう経験になったように思います。ひまわりの収穫や種取りと合わせて、「自分たちで育てた」「自分たちで取った」という実感をもって、秋の自然や実りに親しむ姿が見られました。その後の活動では、運動会や芋ほりの経験を絵に描いて表現しました。絵の具だけを使い、体を大きく動かしながらダイナミックに描く中で、心に残った

場面や気持ちを自分なりに表そうとする姿が見られ、経験が表現へとつながっていることが感じられました。

11月

作品展に向けて、クラスみんなで表現する楽しさを感じながら、さまざまな活動を重ねた一か月でした。

ローラーを使った大きな描画や、手足・指先の感触を味わう造形活動では、自分のイメージをのびのびと表現し、友だちと同じ空間で作る楽しさを味わっていました。にじみ絵では色の変化をじっと見つめ、素材遊びでは空き箱などを工夫して使いながら、「こうしたらどうなるかな」と試したり考えたりする姿が多く見られました。園外保育で出会った動物たちの姿は、その後の絵画表現へとつながり、心に残った経験を自分なりに表そうとする姿が印象的でした。

作品展当日には、自分の作品を誇らしそうに紹介

する姿が見られ、保護者の皆さまの温かい

まなざしや声かけに包まれながら、子どもたちは「見てもらえた」「認めてもらえた」という喜びを感じ、自信を

深めていました。

2学期も保護者の皆様には日々温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。行事や日々の園生活を通して、子どもたちは様々な経験を重ね、一人ひとりが自分しさを発揮しながら成長する姿を見せてくださいました。3学期も、子どもたちが安心して楽しく園生活を送れるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひします。